北海道管区行政評価局

若手職員からのメッセージ

総務省

Q1　現在担当している業務について教えてください！

役所の仕事や手続、サービスに関する困りごとなどについて相談を受け付ける行政相談業務を担当しています。寄せられる相談の分野は多岐にわたるため、難しい相談を受け付けることもありますが、困りごとを解決できた際には達成感があります。

また、行政相談委員の活動を支援する業務も担当しており、例えば、委員と一緒に小・中学校を訪問し、行政相談について知ってもらうための出前教室を行うこともあります。豊富な知識や経験を持つ委員から学ばせていただくことも多く、各委員の担当地域に出向いた際には、様々なお話を伺うことが楽しみのひとつになっています。

Q2　センターの業務について教えてください！

センターの職員は少人数のため、会議、行事等の準備は、職員が一丸となって取り組んでいます。その分、上司や同僚とのコミュニケーションも活発で、風通しの良さを感じています。

また、現在子育て中ですが、休暇を取りやすい業務体制、職場の理解があるため、園の行事参加や子の看護などに積極的に関わることができます。働きながらも、子の成長を近くで見ることができていると実感しています。

Q3　受験生にメッセージをお願いします！

当局では様々な業務に携われるため、やりがいを持てる仕事を見つけてほしいです。また、ワークライフバランスを重視しており、仕事以外の時間も大切にできますので、興味を持った方は、ぜひ業務説明会にお越しください。

計画的な休暇取得でプライベートも充実しています！

休暇を利用して、家族みんなで

地元へ帰省しました！

Q1　当局にはどんな魅力がありますか？

このメッセージを読んでくれたみなさんに、私から当局の魅力を二つ伝えたいと思います。

一つ目は、「どのようなバックグラウンドを持っていても活躍できる場がある。」ということです。当局の業務は、担当する調査や相談事案によって行政分野が異なるため、個人が有する知見やスキルが様々な場面で活かされる可能性があり、実際に理系文系を問わず、色々な知見を持つ個性豊かな職員が働いています。変化が激しい時代だからこそ、様々なバックグラウンドを持ったみなさんの、多種多様な観点が必要だと感じています。

二つ目は、「自分の意見を自由に発信できる風土がある。」ということです。当局は、業務を進める中で、気になることや疑問に思うこと、そして困っていることについて、役職や世代に関係なく、自由闊達に自分の意見を言い合うことができる組織です。たとえ若手職員だとしても、担当する業務においては中心となり、上司や同僚と対等な立場で業務に向き合うことができます。

そのような意味では、真に風通しの良い職場と言えるのではないかと思います。

Q2　受験生にメッセージをお願いします！

振り返ると、日々の業務は「初めて」のことばかりで、試行錯誤が続いてきましたが、常に「今が一番楽しい」と感じながらキャリアを積んでこられたと思います。

受験生のみなさんが人生の進路を決めるときに、きっと色々なことで悩むと思いますが、自分のことを一番に考えて、後悔のない選択をしてください。

その選択の先に、北海道管区行政評価局があると嬉しいです。

若手のうちから、チームの一員として役割をもって働けます！

打合せでは、若手職員も

積極的に意見を出しています！！

Q1　現在担当している業務について教えてください！

行政相談業務を担当しており、主に電話で行政への苦情・要望を受け付けています。どのような法令や制度が関係しているのかを調べるたびに、世の中には自分の知らないことがたくさんあるなと驚いています。

苦情・要望の全てを解決できるとは限らないですが、少しでも相談者の困りごとを減らせるように奮闘しています。

Q2　職場の雰囲気について教えてください！

面倒見のいい人ばかりで、何を質問しても丁寧に教えてもらえます。ときには、質問する前に教えてくれることもあります。冗談を言い合うことも、激論を交わすこともできる職場です。

テレワークやフレックスタイム制といった柔軟に働くことができる制度が整っており、有給休暇も気軽に取得できます。

Q3　受験生にメッセージをお願いします！

法律や制度は何のためにあるのか？国民の利益とはいったい何なのか？この政策で誰が救われるのか？救われない人にはどう向き合えばいいのか？総務省の存在意義は何か？愛する北海道のために自分は何ができるのか？

国家公務員は、国民を想い国民の笑顔を守る仕事です。

未来あるあなたがこの国の未来を変える日を、心から待ち望んでいます。

オンラインで打ち合わせをしています！

センターの職員や、テレワーク中の職員と

リアルタイムでやりとりできます！

Q1　これまで経験した業務について教えてください！

私は、採用から２年間は管区局（札幌）で主に調査業務に従事しました。

調査テーマについては知らないことばかりで、調査のたびに勉強が欠かせません。特に、複雑な制度が関係する調査の場合は、その分勉強も大変ですが、上司や先輩と意見を交わす機会も多く、お互いの理解を深め合いながら業務に臨むことができました。

自分の担当したヒアリングの結果が、行政運営を改善するための「縁の下の力持ち」になっていると考えると、とてもやりがいのある仕事だと思います。

Q2　現在担当している業務について教えてください！

３年目から、函館センターで行政相談業務に従事しています。

行政相談業務では、行政に関するお困りごとについて国民の皆様から相談を受け付けています。業務の内容は、これまで従事していた調査業務とは異なりますが、誰かの困りごとを解決するというゴールは変わらないと感じます。

また、今回が初めての転勤ではありましたが、管区局にいたときにも、センターの先輩職員と接する機会が設けられていたため、環境の変化に戸惑うことは少なかったです。

Q3　受験生にメッセージをお願いします！

パンフレットに書いてあることのほかにも、当局での仕事について気になることはたくさんあると思いますので、業務説明会にお越しいただき、是非、職員の生の声をヒアリングしてみてください。お待ちしております！

同期とは一緒に休暇を取得し、旅行を楽しむ仲です！

まったり船旅を満喫しました！

Q1　１年目で経験した業務について教えてください！

１年間、実務研修として、調査業務と行政相談業務の両方を経験しました。

調査業務では、子育て支援制度に関する調査を担当したほか、情報収集の一環として関係機関へのヒアリングも経験しました。行政相談業務では、一般の方からの相談の受付、行政機関への照会など、事案処理に携わりました。

調査業務で任されたヒアリングでは、アポ取りや事前準備、取りまとめなどの一連の業務を担当しました。これまで自身が詳しく知らなかった制度や行政上の課題について、一から勉強するのは簡単ではありませんが、ヒアリングで貴重な情報を引き出せたときにはやりがいを感じます。

Q2　職場の雰囲気について教えてください！

比較的少人数の役所ですので、上司や先輩職員との距離が近く、業務を進めるに当たり相談しやすい雰囲気があります。

働き方の面では、テレワーク、フレックスタイム制が活用されており、個人の状況に応じた柔軟な勤務形態を選べる職場だと思います。計画的な休暇の取得も推進されており、私も、連休と通常の休暇を併用するなどしてオフの時間を楽しんでいます。

Q3　受験生にメッセージをお願いします！

業務説明会などの採用イベントでは、皆さんと直接お話しできるタイミングがあるかと思います。当局の雰囲気を感じられる良い機会ですので、是非一度お越しください！

フィールドワーク・出張多めです！

出張先のご当地グルメを食べるのも

楽しみの一つです！

Q1　１年目で経験した業務について教えてください！

実務研修として、調査業務と行政相談業務に従事しました。

調査業務では、様々な市町村に実地調査を行いました。フィールドワークを行うことで実態を把握することができ、現場の生の声を総務本省に報告することができました。

行政相談業務では、幅広い内容の相談を受け付けました。その都度関連する業務内容について調べることは大変でしたが、実際に相談者の困りごとを解決し、業務の改善までつなげられたときにはやりがいを感じました。

Q2　現在担当している業務について教えてください！

現在は調査業務に従事しています。

新しい調査を始める際には、一から制度について勉強することになりますが、上司や先輩方に相談しやすい環境が整っており、周りの職員と協力しながら業務に取り組んでいます。

また、議論の多い職場であり、若手の気づきの中から新しい課題が見つかることもあります。若手の意見に対しても否定されることはなく、真剣に議論がなされるため、風通しのよい職場だと感じています。

Q3　受験生にメッセージをお願いします！

当局では調査や行政相談の対象分野が幅広く、日々新しいことを学ぶことができる職場です。様々な分野に関わってみたい方や、私たちの業務に少しでも興味を抱いている方は、業務説明会にお越しいただき、雰囲気を感じてもらえればと思います！

各種研修も充実しています！

座学研修やＯＪＴが充実しているので

配属後も安心です！

行政相談キャラクター
キクーン